

I 福島県特別支援教育推進プランの基本理念



<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1glUQKKvRhIG7r4Y7grd7IK8kdnvjFUuq>

<基本理念>

本推進プランは、第7次福島県総合教育計画（令和3年12月）の施策の一つ、「学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる」の実現のため、「地域で共に学び、共に生きる教育の推進」を基本理念として各種事業に取り組みます。この第7次福島県総合教育計画の施策は、福島県学校教育審議会答申（平成21年9月）が目指す特別支援教育の姿として示す「障がいのある子ども一人一人のニーズに応じた教育を、地域の幼稚園等、小・中学校、高等学校、特別支援学校で行うことであり、関係機関とのより一層の連携を図りながら、特別支援教育を推進、充実させていくことを目指す」に基づき、設定しています。

<本プランの位置づけ>

本推進プランは、第7次福島県総合教育計画の年次計画である「学びの変革推進プラン」の下に位置付け、年次ごとの特別支援教育の各種事業について示したものです。

<本県の学校教育指導の重点（特別支援教育）について>

県では、全ての校種に共通する特別支援教育に関する指導の重点事項として、以下の3つの指針を示しています。

- ① 連続性のある多様な学びの場を重視した対応
- ② 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
- ③ 自立と社会参加に向けた教育の充実

II 福島県の特別支援教育を取り巻く現状と課題



<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1bUUu3a3McACJjPpFYLXDsVnsoYr5oBRES>

① 特別な支援を必要とする児童生徒

- ・小・中学校の通常の学級及び高等学校に在籍する特別な支援が必要な生徒 小7.1%、中4.0%、高2.4% (H30本県調査)
- ・小・中学校の特別支援学級在籍数（前年比1.08倍）
- ・通級による指導を受ける児童生徒数（前年比1.04倍）
- ・個別の教育支援計画の作成率、引継ぎ・活用率
作成率：R7:94.1% (R6:93.5%) 引継ぎ・活用率：R7:79.7% (R6:85.6%)
- ・幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校における校内研修実施率
R7:93.6% (R6:92.6%)
- ・地域支援センターにおける相談・研修支援件数 R7:3,671件 (R6:3,082件)

② 市町村における支援体制の整備状況

- ・市町村と福祉の連携率 R7:81.4% (R4調査開始時:72.9%)
- ・各自治体において、関係機関との役割の明確化が進んでいる。今後、保健福祉部局と市町村教育委員会などの関係機関の連携強化が課題
- ・教育支援委員会等において、教育的ニーズの観点を踏まえた学びの場の検討が課題

③ 特別支援学校高等部卒業生に占める就職率 R7:27.4% (R6:30.1%)

III 特別支援教育に関する事業の展開



https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1FaGrp_h77MDNHNnjswfrAeX4OQ82hw49

ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業【主要事業1】

地域支援体制整備事業 *地域の特別支援教育を支えます！

*「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進のため、市町村において教育、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制の整備・充実を図ります。

- ・特別支援教育推進会議（有識者・医療・福祉・保健・労働・各校種代表校長）
- ・特別支援教育体制促進協議会（市町村教育委員会・教育事務所等）
- ・教育支援協議会（小・中学校長（隔年）・高等学校管理職（希望研修））
- ・地域支援チーム戦略・連携会議（教育事務所・学校・関係機関等）
- ・幼稚園、小・中学校、高等学校等への相談・研修支援
- ・地域支援センター特別支援教育研修会（各地域の特別支援学校が実施）等

発達障がい等のある児童生徒の教育環境整備事業 *学びを支えます！

*小・中学校の通常の学級及び高等学校において、発達障がい等のある児童生徒に対し、個別最適化された指導や支援の充実を目指し、必要な伴走支援を行います。

- ・発達障がい等のある児童生徒の教育環境整備に関する協議会（外部専門家、特支センター、協力校等）
- ・小・中学校、高等学校の校内支援体制構築
- ・発達障がい等のある児童生徒の理解
- ・通常の学級の特別な支援が必要な児童生徒の支援・指導 等

特別支援学校就労チャレンジ推進事業【主要事業2】

夢に向かってテクノチャレンジ事業 *キャリア教育の推進をします！

*特別支援学校高等部生徒の進路に対する意識を高め、企業への就職及び職場への定着を促進するため、特別支援学校作業技能大会を開催します。

- ・作業技能大会実行委員会（年4回 参加者：特別支援学校・特支センター・関係機関等）
- ・第14回特別支援学校作業技能大会
令和8年8月5日（水） ビッグパレットふくしま

連携強化・就労推進事業 *企業や関係機関との連携を支えます！

*進路指導支援員を配置し、県内各地域の地元企業や各関係機関（県労働局、障がい者就業・生活支援センター等）との連携を強化することにより、特別支援学校高等部の生徒の就労の推進を図ります。

- ・進路支援チーム会議（特別支援学校・進路指導支援員・関係機関等）
- ・企業・団体との協働連携（企業研修・学校見学・現場実習）
- ・ふくしまの特別支援学校就労応援企業・団体登録 等

特別支援教育を支える事業

- 県立学校における医療的ケア実施事業
- 高等学校学習支援推進事業
- 株式会社「LITALICO」との連携協定（義務教育課）
- ADHD 通級指導教室講師配置（義務教育課）
- 身体に障がいのある生徒に対する支援事業（高校教育課）
- 高等学校における通級による指導（高校教育課）

特別支援学校の整備

【特別支援学校整備計画】

- ・第二次福島県立特別支援学校全体整備計画（H29.12.15公表）

【学習環境の整備】

- ・だて支援学校開校（令和4年4月）
- ・ふたば支援学校の双葉地区での再開（令和7年1月）
- ・あだち支援学校開校（令和7年4月）
- ・みなみあいづ支援学校開校（令和8年4月）

IV 教員の専門性向上を支える各種研修

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1PTKkrso2c6Wb1QJ7StqYZiRQO-ImTBwl>



小・中学校、高等学校の学びを支える研修

<特別支援教育課> ▶特別支援学級教育課程研修会

<特別支援教育センター> *詳細はホームページ参照

- ・研修パッケージ…「知る」「気付く」「支える」「つなぐ」研修動画・資料
- ・職能研修 4講座

- ▶特別支援学級等新任担当教員研修会 ▶小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会
- ▶高等学校特別支援教育コーディネーター研修会 ▶通級指導教室担当教員研修会

・専門研修 8講座

▶発達障がいのある子どもの基礎的な理解と対応 ▶発達障がいのある子どものライフステージに応じた指導と支援 ▶教育相談（基礎編）（応用編） ▶指導に生かすアセスメント

- ▶子どもの豊かな学びと生活を支える「教育的ニーズの整理」 ▶特別支援学級の授業の充実
- ▶自立活動の指導の充実（小・中学校、高等学校）

特別支援学校の学びを支える研修

<特別支援教育課> ▶特別支援学校教育課程運営講座 ▶県立特別支援学校生徒指導担当者連絡協議会 ▶県立特別支援学校進路指導担当者連絡協議会 ▶ICT実践協議会

<特別支援教育センター> *詳細はホームページ参照

- ・職能研修 4講座 *他にも3年に1回実施が2講座
- ▶特別支援教育コーディネーター研修会 ▶教務主任・研修主任研修会

▶自立活動の指導実践研修会 ▶寄宿舎指導員研修会

・専門研修 10講座

▶教育相談（基礎編）（応用編） ▶指導に生かすアセスメント ▶子どもの豊かな学びと生活を支える「教育的ニーズの整理」 ▶自立活動の指導の充実 ▶特別支援学校における教科指導の授業力向上 ▶重度・重複障がいのある子どもの学びの充実 ▶特別支援学校における授業の充実 ▶子どもの可能性や個性を伸ばす進路指導 ▶授業におけるICTの活用

特別支援教育に関する教育活用型資料

- ・福島県特別支援教育センター「研修パッケージ」
https://special-center.fcs.ed.jp/page_20240322025508



- ・福島県特別支援教育センター「小・中学校、高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のためのコーディネートハンドブック」
<https://special-center.fcs.ed.jp/file/4791>



- ・福島県特別支援教育課 就学支援の手引き
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/tokubetsushien06.html>

